

三原市の財政状況

平成 19 年度決算の状況及び平成 20 年度予算の上半期の執行状況について

平成 19 年度の決算の状況

(1) 一般会計決算の状況

歳入合計	458 億 4,766 万 9 千円
歳出合計	451 億 5,715 万 4 千円
歳入歳出差引額	6 億 9,051 万 5 千円
翌年度に繰越すべき財源	1 億 9,321 万 6 千円
実質収支	4 億 9,729 万 9 千円
単年度収支	1 億 902 万 1 千円

(単年度収支とは、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものです。)

平成 19 年度の実質収支は、4 億 9,729 万 9 千円の黒字、単年度収支では、1 億 902 万 1 千円の赤字決算となっています。

歳入決算は、第 1 表のとおり、458 億 4,766 万 9 千円で、対前年度比 20 億 2,084 万 9 千円(4.6%)の増です。

市税は、159 億 8,682 万 1 千円で、全体の 34.9%を占め、対前年度比 7.8%増となっています。

市税の増加では、市民税個人分が 10 億 4,203 万 7 千円(27.6%)の増、市民税法人分が 1 億 1,883 万 4 千円(7.8%)の増が主な要因ですが、固定資産税については、1,942 万 3 千円(0.2%)の減となっています。

地方譲与税は、対前年度比 7 億 8,298 万 1 千円(55.0%)の減、6 億 4,020 万 5 千円で、構成比 1.4%です。

地方交付税は、対前年度比 6 億 842 万 2 千円(6.8%)の減、83 億 5,653 万 3 千円で、構成比 18.2%です。

このうち、普通交付税は、5 億 4,242 万 1 千円(6.9%)の減、72 億 7,945 万 7 千円で、構成比 15.7%です。

また、特別交付税は、6,600 万 1 千円(5.8%)の減、10 億 7,707 万 6 千円です。

市債は、市営住宅建設事業の完了により、土木債が 2 億 2,770 万円の減(14.3%)の 13 億 6,600 万円、減税補てん債が 1 億 2,530 万円の皆減、臨時財政対策債が 1 億 1,120 万円の減(9.3%)の 10 億 8,850 万円で、市債総額は前年度に比べて 18 億 2,830 万円の増の 69 億 4,090 万円となり、構成比 15.1%，対前年度比 35.8%増となっています。

なお、臨時財政対策債、減税補てん債などの特別な要素を除くと、対前年度比 54.5%増となっています。

歳入決算の財源別構成比でみると第 2 表のとおり、自主財源は 221 億 3,487 万 3 千円（48.3%）、依存財源は、237 億 1,279 万 6 千円（51.7%）です。自主財源は、市税、繰入金、繰越金、諸収入が増となっていますが、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入が減となり、対前年度比 17 億 8,488 万 5 千円（8.8%）の増となっています。

一方、歳出決算では、第 3 表のとおり、451 億 5,715 万 4 千円で対前年度比 5.7%の増となっています。

目的別歳出決算の主なものは、福祉関係の民生費で、115 億 4,657 万 3 千円で全体の 25.6%を占め、高齢者福祉、心身障害者福祉、児童福祉等の充実を図りました。また、介護保険特別会計には、10 億 260 万 3 千円、老人保健医療特別会計には 11 億 5,247 万 2 千円の繰出しも行いました。

総務費は、89 億 2,041 万 5 千円で全体の 19.8%を占め、文化施設建設費 36 億 3,851 万 1 千円で文化施設建設を行いました。

土木費は、57 億 1,250 万 4 千円で全体の 12.6%を占めています。この中で、生活関連施設整備を重点的に取り組み、主な事業は、市道新設改良費 9 億 3,988 万 5 千円、街路事業費 9 億 3,344 万 3 千円、橋梁新設改良費 5,697 万 9 千円、まちづくり事業を含む都市施設整備事業費 22 億 396 万 1 千円等です。

教育費では、37 億 1,014 万 9 千円で全体の 8.2%を占め、義務教育環境の充実、生涯学習の推進、障害児教育の充実、社会教育の促進等を図りました。

一般会計の決算は実質収支が 4 億 9,729 万 9 千円の黒字となり、歳出において、各種施策の所期の目標を十分達成できたものと受け止めています。

性質別歳出決算では、投資的経費が、19 億 1,037 万円（23.5%）の増、100 億 5,619 万 8 千円（構成比 22.2%）です。主な増の要因は、文化施設建設事業 28 億 5,069 万 8 千円の増、こども園建設事業 4 億 5,738 万 4 千円の増、都市施設整備事業 2 億 9,893 万 9 千円の増などです。一方、主な減の要因は、情報基盤整備事業 7 億 5,723 万 7 千円の減、道路新設改良事業 2 億 4,304 万円の減、住宅建設事業 6 億 1,651 万 4 千円の減などです。

一方、公債費等の義務的経費のウエイト（47.1%）は依然として高く、今後も引き続いて行財政改革を推進し、効率的な財政運営を行っていく必要があります。

(2) 特別会計決算の状況

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入をもって特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において設置するものです。

特別会計決算（15会計）は、第4表のとおりです。

歳入合計	388億 671万 5千円
歳出合計	385億 3,741万 1千円
歳入歳出差引額	2億 6,930万 4千円
翌年度に繰越すべき財源	5,510万 9千円
実質収支	2億 1,419万 5千円
単年度収支	1億 4,702万 9千円

特別会計全体では、実質収支は、2億 1,419万 5千円の黒字、単年度収支は、1億 4,702万 9千円の赤字となっています。

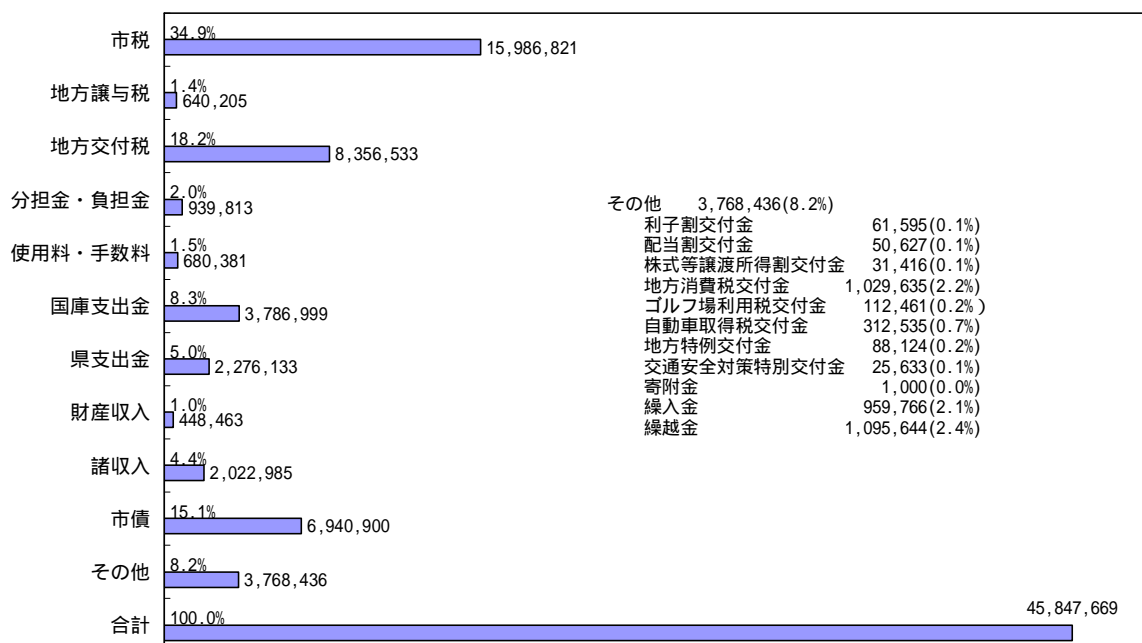
会計別では、国民健康保険（事業勘定）特別会計は、3,378万 5千円の黒字です。

老人保健医療特別会計は、1億 6,605万 5千円の赤字となったため、翌年度からの繰上充用の措置を行いました。

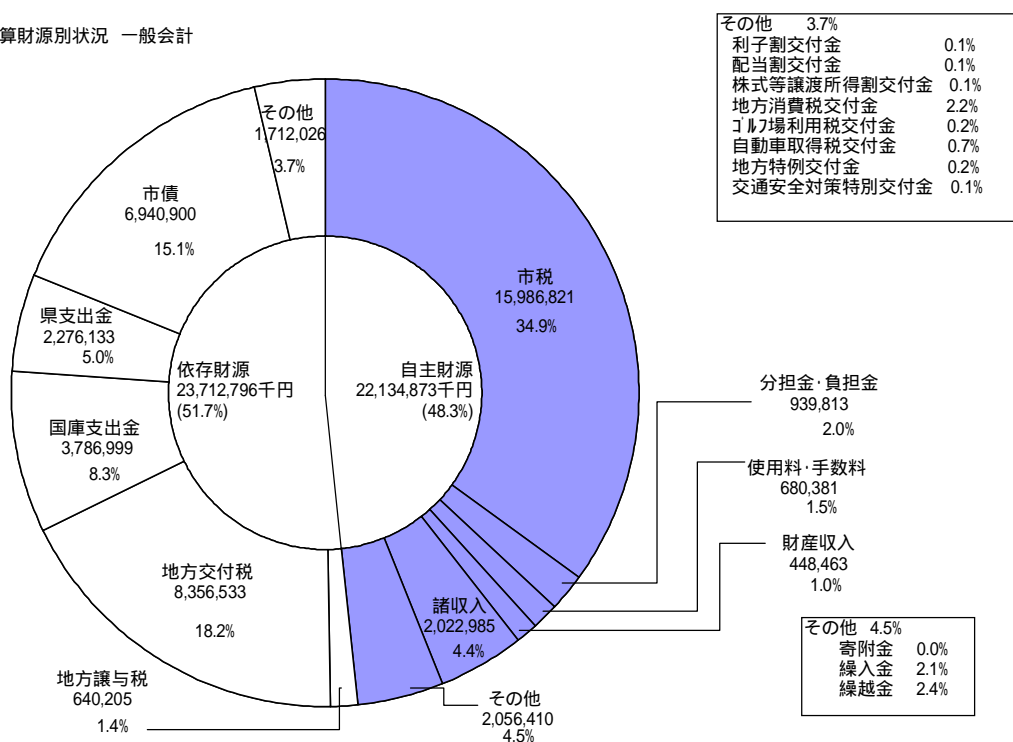
介護保険特別会計は、8,378万 7千円の黒字となり、これは翌年度において介護給付費準備基金への積立てや、交付金等の精算返還金等の財源となる予定です。

第1表 平成19年度 歳入決算状況 一般会計

(単位：千円)



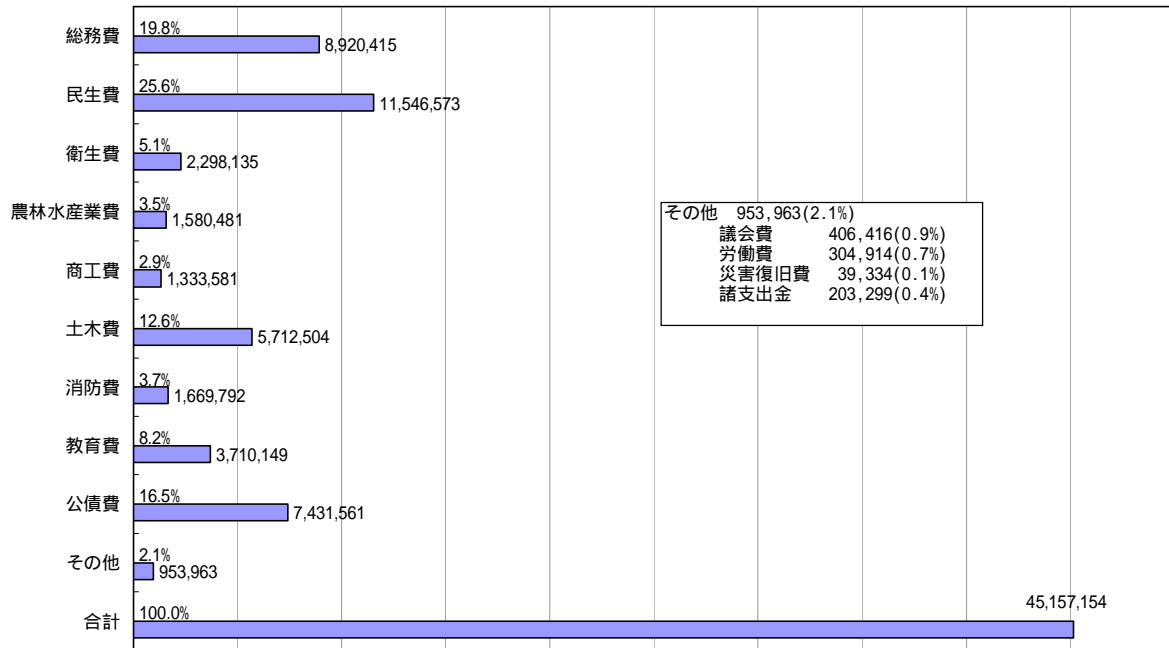
第2表 歳入決算財源別状況 一般会計



第3表 平成19年度歳出決算の状況 一般会計

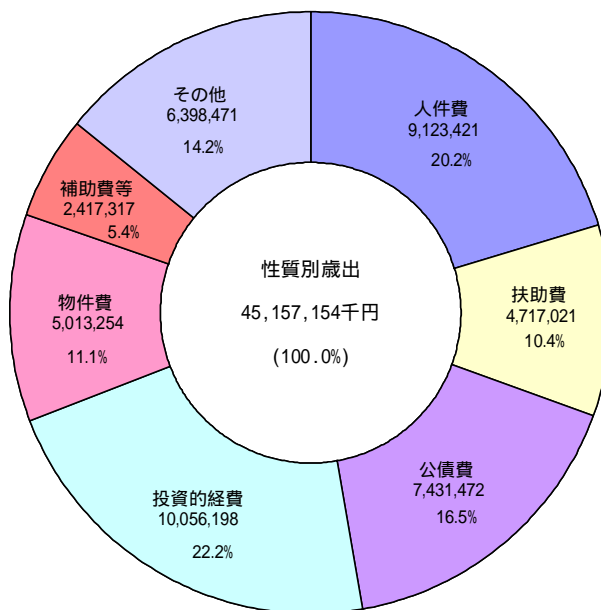
(ア)目的別歳出

(単位：千円)

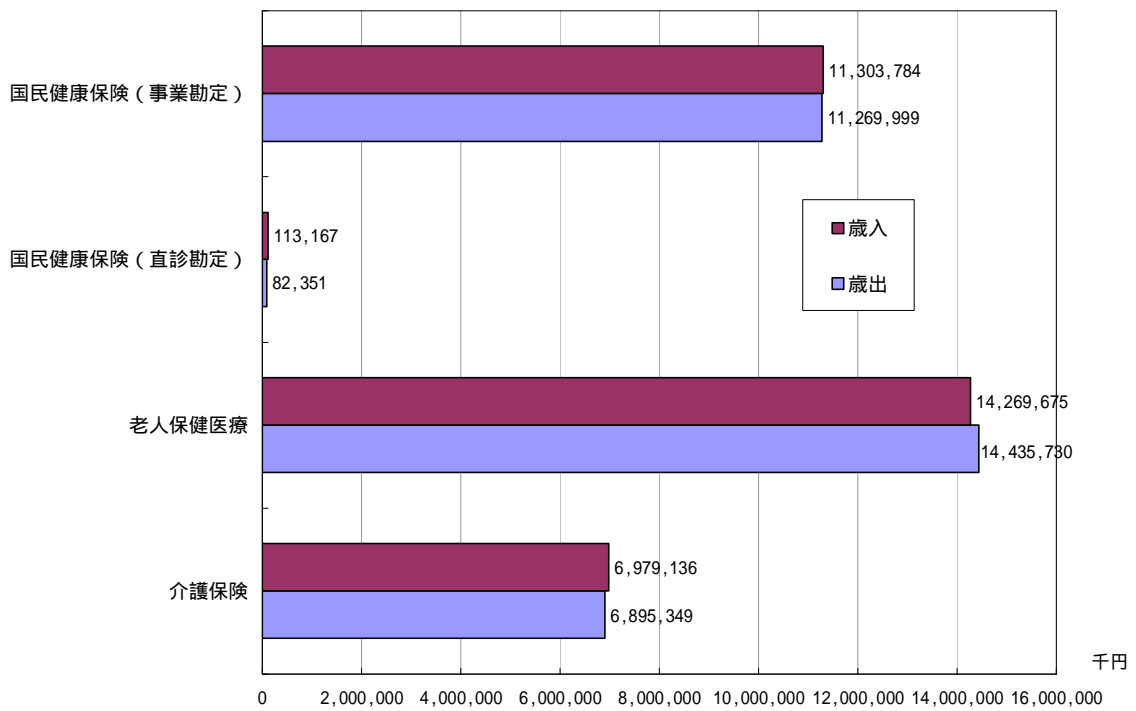
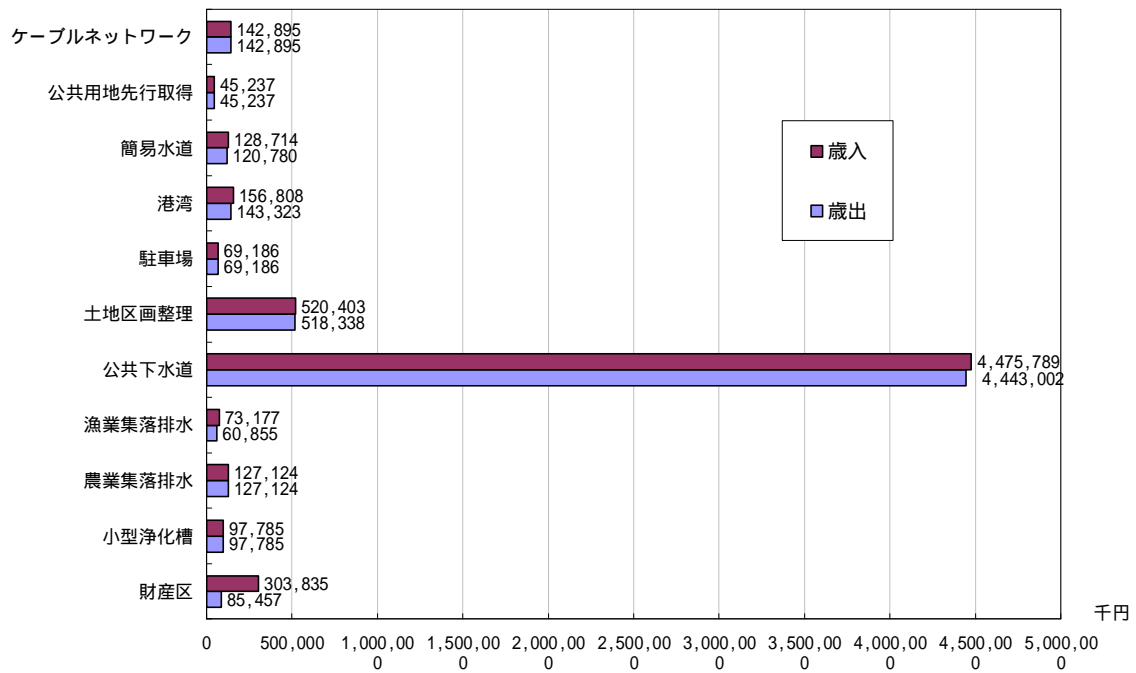


(イ)性質別歳出

その他	6,398,471(14.2%)
維持補修費	545,115(1.2%)
投資・出資・貸付金	1,413,958(3.1%)
積立金	29,715(0.1%)
繰出金	4,409,683(9.8%)



第4表 平成19年度 歳出決算の状況 特別会計



平成 20 年度予算の補正及び執行状況について

(1) 平成 20 年度予算の補正の状況

○ 一般会計

当初予算額では、451 億 3,600 万円の通年予算を編成していますが、当初予算成立後に、新たに必要となった事業を厳選して、補正予算を計上しました。また、前年度からの繰越事業費と併せ、9 月末現在の予算総額は 465 億 7,261 万 1 千円となっています。

当初予算額	451 億 3,600 万 円			
補正予算額	3 億 4,656 万 円		補正予算の内訳	
繰越明許費等	10 億 9,005 万 1 千円		第 1 号	1,338 万 円
9 月末予算額	465 億 7,261 万 1 千円		第 2 号	5,508 万 円
			第 3 号	2,680 万 円
			第 4 号	2 億 5,130 万 円

主な補正予算は、つぎのとおりです。

・市議会議員補欠選挙費	13,380 千円
・中心市街地活性化推進事業費	9,615 千円
・高齢者生きがい対策事業費	10,800 千円
・街路建設費（古城通系崎線 1）	193,000 千円
・地方道路交付金事業費（古城通系崎線 1）	187,000 千円
・運動公園施設管理運営費	15,500 千円
・教育施設維持補修費（耐震 2 次診断）	26,800 千円
・地方特定道路整備事業費（系崎港線）	206,600 千円
・まちづくり事業費（松浜地区）	30,000 千円

○ 特別会計

当初予算総額は、263億2,689万円でしたが、前年度からの繰越事業費及び補正予算により、9月末現在の予算総額は274億7,087万9千円となっています。

特別会計の予算状況は、第5表のとおりです。

主な補正予算は、つぎのとおりです。

老人保健医療特別会計

・繰上充用金 166,056千円

国民健康保険（事業勘定）特別会計

・償還金 4,482千円

介護保険特別会計

・介護給付費準備基金積立金 77,297千円

・償還金 19,665千円

第5表 予算の状況 特別会計

単位 千円

特別会計名	当初予算額	繰越 明許費等	補正予算額				予算現額
			第1号	第2号	第3号	補正額計	
ケーブルネットワーク事業	62,770						62,770
公共用地先行取得事業	29,120						29,120
簡易水道事業	155,650	46,924					202,574
港湾事業	139,090						139,090
駐車場事業	69,480						69,480
土地区画整理事業	573,100	119,756					692,856
公共下水道事業	4,261,990	697,487					4,959,477
漁業集落排水事業	69,480	12,322					81,802
農業集落排水事業	127,110						127,110
小型浄化槽事業	152,400						152,400
国民健康保険(事業勘定)	10,654,270		4,482			4,482	10,658,752
国民健康保険(直診勘定)	94,230						94,230
老人保健医療	1,359,660		166,056			166,056	1,525,716
後期高齢者医療	1,255,240						1,255,240
介護保険	7,236,770		96,962			96,962	7,333,732
財産区	86,530						86,530
計	23,326,890	876,489	267,500			267,500	27,470,879

(2) 平成 20 年度予算の執行状況

平成 20 年 9 月末日現在の予算の執行状況はつぎのとおりです。

一般会計は、第 6 表のとおり

予算総額	465 億 7,261 万 1 千円	
収入済額	188 億 2,908 万 5 千円	(執行率 40.4%)
支出済額	164 億 365 万 7 千円	(執行率 35.2%) です。

収入済額のうち前年同期に比べて減収となったものは、繰越金 4 億 512 万 9 千円の減、財産収入 2 億 2,217 万 5 千円の減、国庫支出金 1 億 4,223 万 9 千円の減などで、増収となったものは、市税 3 億 4,984 万 9 千円の増、地方交付税 2 億 1,584 万 7 千円の増などです。

収入済額の執行率は、前年同期に比べ、1.9 ポイント増の 40.4%となっています。

支出済額の執行率では、前年同期に比べ、0.9 ポイント増の 35.2%となっています。

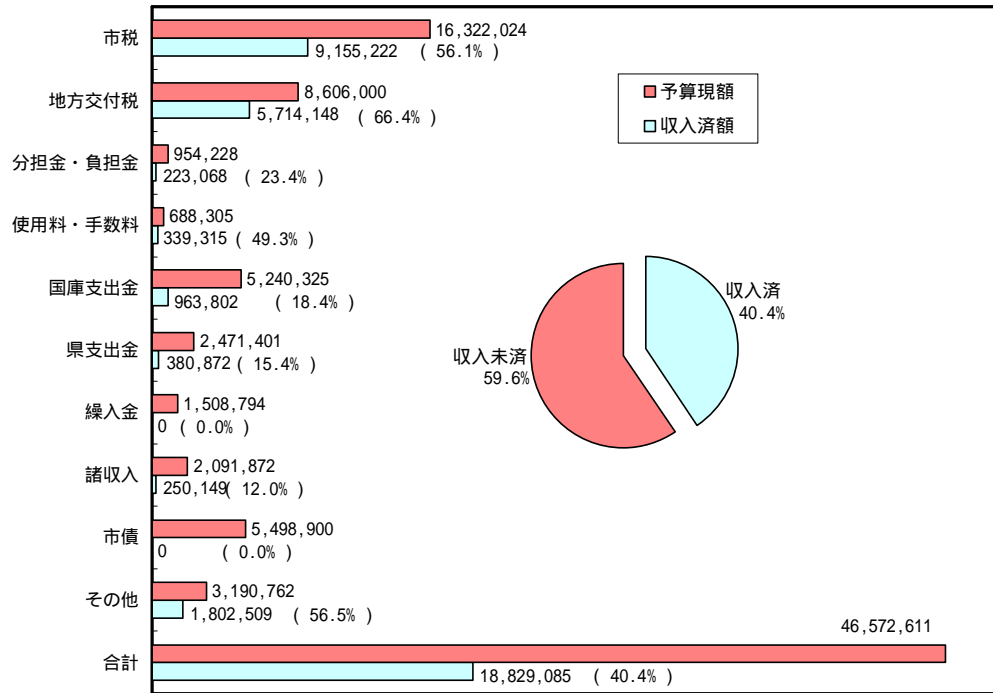
執行率の高いものを目的別にみますと、労働費 99.1%、諸支出金 79.0%、商工費 65.5%、議会費 48.9%、公債費 46.2%、消防費 42.7%、教育費 39.3%、民生費 34.5%などとなっています。

特別会計(16 会計)は、第 7 表のとおり

予算総額	274 億 7,087 万 9 千円	
収入済額	89 億 39 万円	(執行率 32.4%)
支出済額	109 億 5,227 万 1 千円	(執行率 39.9%) です。

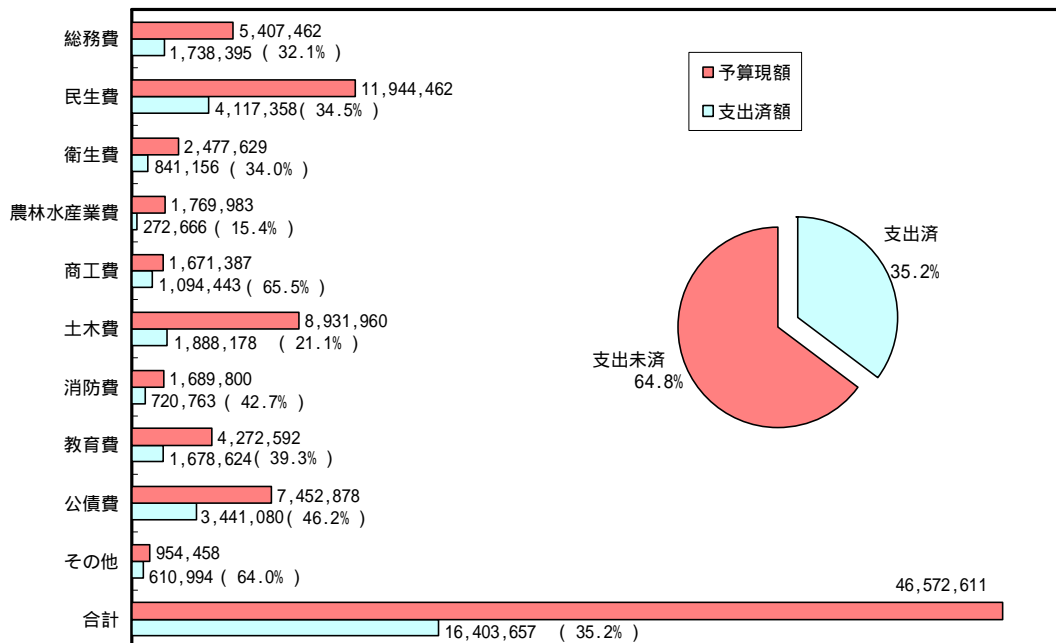
第6表 平成20年度予算の執行状況 一般会計 歳入

平成20年9月末 (千円)



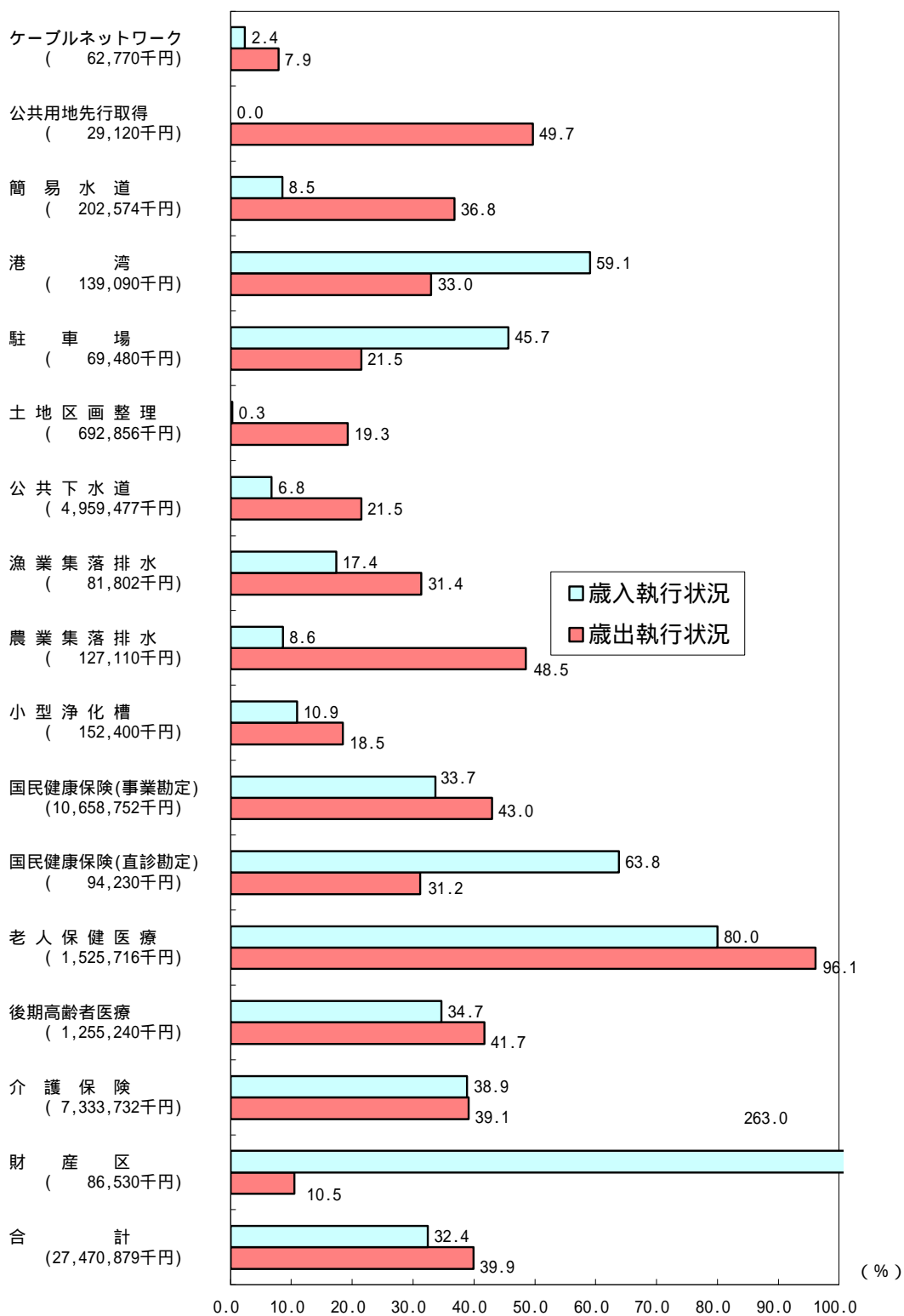
平成20年度予算の執行状況 一般会計 歳出

平成20年9月末 (千円)



第7表 平成20年度予算の執行状況 特別会計

平成20年9月末



市債及び一時借入金の状況について

○ 市債（地方債）

市債は、学校その他の施設、道路・河川などの公共施設の建設や災害復旧などで一度に多額の資金を必要とする事業を実施する場合、その財源に充てるため発行が認められている長期の借入金です。

一般会計の9月末の現在高は、632億2,544万9千円ですが、この償還については、普通交付税に50%程度が算入される見込みです。前年同期に比べて、4億9,164万6千円の増（0.8%）となっています。

9月末の現在高が増となった特別会計は、簡易水道事業特別会計で217万6千円増の3億8,308万1千円、土地区画整理事業特別会計で7,330万円増の1億6,440万円、公共下水道事業特別会計で7億7,459万3千円増の199億6,234万8千円、小型浄化槽事業特別会計で3,028万1千円増の2億778万1千円です。一方、減となった特別会計は、漁業集落排水事業特別会計で544万6千円減の3億7,067万3千円、農業集落排水事業特別会計で8,182万8千円減の7億8,133万3千円となっています。公共用地先行取得事業特別会計は、増減がなく11億6,130万円です。

平成20年9月末における全会計の市債現在高は、同年同期に比べて12億8,472万2千円増の862億5,636万5千円です。

会計別内訳は、第8表のとおりです。

○ 一時借入金

一時借入金は、歳出予算を執行するうえで、一時的な歳計現金に不足を生じたとき、短期の借入れを行ってその不足を補うためのものです。

平成20年9月末の一時借入金現在高は、一般会計、特別会計ともにありません。

第8表 市債の現在高の状況

単位 千円

会 計 名	前年9月末 現在高	前年度末 現在高	本年9月末 元金償還額	本年9月末 借入額	本年9月末 現在高見込	9月末現在高 比較
一般会計	62,733,803	66,076,283	2,850,834		63,225,449	491,646
公共用地先行取得事業	1,161,300	1,161,300	0		1,161,300	0
簡易水道事業	380,905	392,401	9,320		383,081	2,176
土地区画整理事業	91,100	164,400	0		164,400	73,300
公共下水道事業	19,187,755	20,337,028	374,680		19,962,348	774,593
漁業集落排水事業	376,119	378,544	7,871		370,673	5,446
農業集落排水事業	863,161	822,032	40,699		781,333	81,828
小型浄化槽事業	177,500	208,400	619		2077,781	30,281
計	84,971,643	89,540,388	3,284,023		86,256,365	1,284,722

市民の税負担の状況

平成 19 年度決算における市税は、159 億 8,682 万 1 千円で、前年度に比べて 11 億 5,606 万 9 千円の増（7.8%）となっています。

平成 19 年度決算における市民一人当たりの税負担額は、第 9 表のとおり、年税額 15 万 5,299 円で、前年度の 14 万 2,959 円と比べて 12,340 円増加しています。

市民一人当たりの税負担額増加の主な要因は、市民税の個人分が、10,404 円増の 4 万 6,762 円、市民税の法人分が、1,268 円増の 1 万 5,889 円です。

なお、平成 19 年度の税目別の内訳は、第 10 表のとおりです。

第 9 表 決算における税の負担状況

区 分	平成 19 年度決算額		平成 18 年度決算額		比 較	
	金 額 千円	一人当たり円	金 額 千円	一人当たり円	金 額 千円	一人当たり円
市 民 税	6,449,466	62,651	5,288,595	50,979	1,160,871	11,672
個人	4,813,847	46,762	3,771,810	36,358	1,042,037	10,404
法人	1,635,619	15,889	1,516,785	14,621	118,834	1,268
固定資産税	7,816,934	75,935	7,836,357	75,537	19,423	398
軽自動車税	221,356	2,150	214,528	2,068	6,828	82
市たばこ税	647,156	6,287	640,052	6,170	7,104	117
特別土地保有税	797	8	95	1	702	7
入 湯 税	20,367	198	24,315	234	3,948	36
都市計画税	830,745	8,070	826,810	7,970	3,935	100
計	15,986,821	155,299	14,830,752	142,959	1,156,069	12,340

第10表 市民1人当たりの税負担割合（平成19年度決算）

